

令和3年度  
事業報告書



社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会

# 令和3年度 事業報告（概要）

## 基本理念

**佐伯市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。**

## 総 括

新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた各事業が2年続きの中止や縮小しなければならない状況が続きましたが、当会では『今こそできること』を職員一丸となって取り組みました。

法人運営部門としては、長年の懸案事項であった社会福祉協議会発展・強化計画を管理職会議等で議論し、将来の社協の在り方を策定することができました。あわせて、人材確保や人材育成を進めるため、資格取得の助成金・資格手当の改正等の諸規定の整備を行うなど、職員の処遇改善にも取り組みました。

地域福祉部門においては、地域において判断能力が不十分な人々の権利を擁護する為、7月に市の受託事業として成年後見支援センターを開設し、高齢者や障がい者の生活への不安を少しでも解消できるだけよう、権利擁護体制を整備しました。また、市民後見人養成講座を開講し15名の方が受講終了しました。さらには、就労準備支援事業や被保護就労支援事業の受託により、生活困窮者自立支援事業と連携して相談体制の充実を図りました。

生活支援体制整備事業としては、新たな居場所づくりや地域のたすけあい活動の支援を積極的に行いました。また、各地区のコミュニティセンター開設に向けて話し合いに参加し、地域の皆さんと困りごとの把握に努めました。

在宅福祉部門においては、市の包括が3圏域化されたことにより、「ばんじょう」、「あまべ」の2包括の受託により、高齢者福祉の推進に努めてきました。

また、介護保険事業の効率化を図るため、居宅介護支援事業所の統廃合を決定しました。

施設福祉部門においては、特別養護老人ホーム豊寿苑の管理運営を行い、入所者へのサービスに努めてきましたが、入退院等も多く、年間平均90.6床、短期入所でも1割程度の利用で、昨年度を下回る状況となりました。また、苑内行事として、2年連続で盆踊り花火大会や家族交流会も中止になりましたが、入所者が快適な生活が送れるよう各フロアでできる年間行事を実施し、入所者へのサービス提供に努めました。

今後も時の情勢に対処しながら、職員が働きやすい職場を目指し、市民の皆さんが安心して暮らせるサービスを提供していきます。

## <総務課>

### 1. 理事会・評議員会等の運営

#### (1) 理事会

会議名	期日	議題
第1回理事会	5月10日	定款の一部変更(案)について 理事・監事・評議員選任規程の一部改正(案)について 事務処理規程の制定(案)について
第2回理事会	6月4日	令和2年度事業報告について 令和2年度収支決算について 令和3年度第1号収支補正予算(案)について 任期満了に伴う新役員(案)の提案について 任期満了に伴う評議員の推薦について 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正(案)について 令和3年度第1回評議員会の開催について 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
第3回理事会	6月21日	会長・副会長・常務理事の選任について 職員給与規程の一部改正(案)について
第4回理事会	7月14日	指定管理施設の応募について 令和3年度第2回評議員会の開催について
第5回理事会	10月21日	職員給与規程の一部改正(案)について 豊寿苑嘱託職員給与規程の一部改正(案)について 経理規程の一部改正(案)について 積立金設置及び運営規程の制定(案)について 積立金の変更(案)について 令和3年度第2号収支補正予算(案)について 令和3年度第3回評議員会の開催について
第6回理事会	3月17日	令和3年度第3号収支補正予算(案)について 令和4年度事業計画(案)について 令和4年度当初収支予算(案)について 定款の一部変更(案)について 正規職員就業規則の一部改正(案)について 職員給与規程の一部改正(案)について 育児・介護休暇規程の一部改正(案)について 役員等賠償責任保険契約について 令和3年度第4回評議員会について 社協発展・強化計画について

## (2) 評議員会

会議名	期日	議題
第1回評議員会	6月21日	令和2年度事業報告について 令和2年度収支決算について 令和3年度第1号収支補正予算(案)について 任期満了に伴う役員の選任について 定款の一部変更(案)について
第2回評議員会	7月26日	指定管理施設の応募について
第3回評議員会	10月29日	積立金設置及び運営規程の制定(案)について 積立金の変更(案)について 令和3年度第2号収支補正予算(案)について
第4回評議員会	3月25日	令和3年度第3号収支補正予算(案)について 令和4年度事業計画(案)について 令和4年度当初収支予算(案)について 定款の一部変更(案)について 社協発展・強化計画について

## (3) 監事による監査

監査名	期日	検査の範囲
内部監査	5月20日	例月出納監査(1月・2月・3月分)
決算監査	5月20日	令和2年度 会計決算監査
内部監査	8月19日	例月出納監査(4月・5月・6月分)
内部監査	11月18日	例月出納監査(7月・8月・9月分)
内部監査	2月14日	例月出納監査(10月・11月・12月分)

## (4) 評議員選任・解任委員会

第1回評議員選任・解任委員会	6月22日	委員長・副委員長の選任について 評議員の選任について
----------------	-------	-------------------------------

## (5) 役員視察研修

期日:令和3年12月2(木)~3日(金)

視察先:社会福祉法人 暁雲福祉会……法人の概要と取り組みについて/施設見学  
大分県社会福祉協議会……今後の社会福祉協議会の運営について

参加者:役員12名・事務局3名

## 2 財務運営・管理

事業計画・予算の立案、執行管理及び事業量を把握し、費用対効果を意識した予算ヒアリングに努めた。

### 3 広報戦略による自主財源確保の取り組み

社協会費の状況

《一般会員》

区 分	金 額 (円)			口 数 (件)			納 入 率 (%)		
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
佐伯	3,989,969	3,879,450	3,955,310	7,985	7,758	7,895	39.51	38.39	39.17
上浦	345,700	336,000	333,000	691	672	666	80.82	78.60	79.00
弥生	855,600	878,800	831,500	1,711	1,757	1,663	68.30	70.14	67.30
本匠	240,000	231,500	225,500	480	463	451	80.00	77.17	77.76
宇目	487,500	449,200	447,700	972	898	896	80.93	74.77	74.42
直川	339,000	320,500	324,900	683	641	650	94.21	88.41	90.03
鶴見	462,500	451,700	446,000	939	903	892	63.79	61.35	67.02
米水津	318,100	306,800	308,570	650	613	617	82.91	78.19	78.00
蒲江	805,310	783,615	714,250	1,503	1,567	1,428	49.80	51.92	46.17
合計	7,843,679	7,637,565	7,586,730	15,614	15,272	15,158	49.77	48.68	48.60

区 分	金 額 (円)			口 数 (件)		
	元年度	2年度	3年度	元年度	2年度	3年度
賛助会員	122,800	155,000	144,000	245	310	288
団体会員	99,000	511,000	659,000	198	1,022	1,318

### 4 リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備

各種関係法令改定に伴い、関連する事業部の運営体制の整備を行い、職員に内容の周知を図り、公共的使命と社会的責任の重さに鑑み、法令等を遵守する取り組みを行った。

### 5 計画的な採用・人事考課等の人事管理

- 事業規模に応じた適正な人員、職務に必要な有資格者を確保するため職員採用を行った。
- 事業の円滑かつ効率的な運営のため、適切な雇用管理を進めた。

## 6 研修・能力開発等の計画的な人材育成

階層別(新任職員・介護保険従事者・管理者・管理職)の職場内研修を通じて、職員の自己啓発を図りながら、業務に対する「意欲の向上」、「能力開発」に努めた。

- 新任職員研修(5日間)
- 管理者研修
- 新任管理職研修(3日間)
- 現任支部長研修(2日間)
- 権利擁護研修(人権)
- 権利擁護研修(認知症)

## 7 労働法制に基づいた労務管理

- 支部事務所移転に伴う定款・就業規則の改正
- 資格手当の拡大に伴う「職員給与規程」の改正
- 法改正による「育児・介護休業等に関する規程」の改正
- 働き方改革の推進、定期健診、ストレスチェックの実施
- 職員の安全と衛生管理のための衛生委員会の開催(本部・豊寿苑)

## 8 「社協発展・強化計画」の策定等の将来ビジョンの検討と進行管理

社会の変化に対応し、今後も安定的な運営と佐伯市の地域福祉力の維持・向上のために必要な役割を果たしていくため、組織や事業を発展・強化していく計画を策定した。

## 9 佐伯市社会福祉センターの管理・運営(指定管理事業)

地域住民の福祉及び健康の増進及び意識の高揚を図ることを目的に適切なセンターの管理運営を行った。

## <地域福祉課>

地域福祉活動計画に関連する社協の具体的な取り組み

### ☆重点事業

- (1) 地域の課題に対して、不足するサービス構築を目指し、住民自らがお互いに支えあえる地域づくりを行う。
- (2) 生活困窮者の相談体制を強化し、自立に繋がる支援を多機関協働により行う。
- (3) 成年後見センターの早期設置を行い、権利擁護体制を充実させる。

# [I] やさしい心と人づくり

## 1 地域の交流・ふれあいの推進

### (1) ふれあい・いきいきサロン事業の推進（市受託事業）

○高齢者の介護予防の推進を図るとともに、引きこもりを予防し社会参加が保てるよう、レクリエーションや健康体操を取り入れて実施した。

・登録数（150ヶ所）、休止（7ヶ所）、廃止（4ヶ所）

支部名	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江
サロンの数	49	2	31	6	16	8	11	8	19

### ○ふれあい・いきいきサロン関係者の研修会

サロンを支える支援者の介護予防の知識習得、レクリエーションメニューの充実を図ることを目的に、研修会を実施した。

① サロン協力者研修会（コロナ禍により中止）

② サロン支援員・お助け隊研修会（年間7回）

・高齢者に生じやすい日常生活上の課題と改善点、重点的に取り組むべき体操や注意点など現場で取り組める健康プログラムについて学習を行った。

### ○体力測定の実施 支援型サロン：91サロン、自主型サロン：1サロン

・サロンの効果と参加者の健康状態を把握するため、体力測定の実施。

・基本チェックリストの活用を行った。

### (2) 子育てサロンの運営支援

○子育て中の保護者の情報交換や集いの場として、情報共有や活動支援を行った。

<子育てサロン登録数>

支部名	佐伯	米水津	蒲江	合計
登録数	6	1	1	8

### (3) 子ども食堂立ち上げ・運営支援

○地域の方々からの食材の寄付を子ども食堂に分配する等、後方支援を行った。

○子育て世代だけでなく、様々な世代がかかわりを持ち、地域住民の『居場所』、『交流の場』として「つぼみ食堂」が活用できるよう支援した。

場 所：直川（中道地区集会所） 第1土曜日

### (4) 児童館・放課後児童クラブの運営（指定管理事業）

①児童館の管理運営・・・・・・・・（佐伯、上浦、蒲江）

〃（地域子育て拠点事業）・・・・・・・・（上浦、蒲江）

②放課後児童クラブの運営・・・・・・・・（上浦、蒲江）

児童館・地域子育て支援拠点事業、放課後児童クラブの利用人数			
	佐伯児童館	上浦児童館	蒲江児童館
① 児童館 延べ人数	8,067	1,938	1,667
内、地域子育て支援拠点事業 延べ人数		(1,255)	(1,178)
② 放課後児童クラブ 延べ人数		1,212	5,253
合 計(①+②)	8,067	3,150	6,920



(5) 地域行事への支援

○地域で行われる行事等への事業費の助成や必要な物品の貸し出しを行った。

①地区社協活動への助成や人的物的支援

20 地区社協への助成 3,911,200 円

地区社協名	主 な 活 動 内 容
佐 伯	さいき元気っ子クラブ支援、佐伯児童館行事支援 (コロナ禍により中止)、グラウンドゴルフ大会、配食サービス、
佐伯東	広報誌「きずな」発行、配食サービス、視察研修(中津市) (コロナ禍により中止) ほのぼの作品展、ほのぼのお月見会
渡町台	配食サービス、会報「ときめき」発行 (コロナ禍により中止) ひまわり文庫まつり、とまちっこ子どもまつり ふれあい公民館まつり
鶴 岡	トトロの広場事業 (コロナ禍により中止) 福祉教室、シルバーと子どもの集い、視察研修 サロン支援
上堅田	福祉研修会、ふれあい広場(展示のみ)、給食サービス (コロナ禍により中止) 健康づくり歩こう会、こども祭り
大入島	救急救命講習会、愛のおたより (コロナ禍により中止) 災害ボランティア研修会、視察研修、給食サービス
八 幡	給食サービス (コロナ禍により中止) 社協・健康まつり
西上浦	視察研修(九重町) (コロナ禍により中止) ふれあい夏祭り、西上浦健康まつり、ひな弁当配布 彦嶽登山大会
下堅田	ふるさとふれあい広場(展示のみ) (コロナ禍により中止) 配食サービス、視察研修、鮎かけの集い ふれあい料理教室、愛の正月もち配布
青 山	配食サービス、青山女性百人会ひな祝いサービス、黒沢ウオーク 青山地区教育ネット夏季プログラム (コロナ禍により中止) 青山ミニミニ農業祭、どろんこバレー
木 立	配食サービス、子育てサロンクリスマス会 (コロナ禍により中止) 盆踊り大会、元越山登山会、敬老会 ふれあい公民館まつり
灘	グラウンドゴルフ大会、ふれあい食の事業 ミニバレーボール大会 給食サービス、子ども会活動、暮らしの書道教室、「姫楽の会」の活動、 健康づくり体操
上 浦	(コロナ禍により中止) ふれあい交流グラウンドゴルフ・ペタンク大会 地区社協視察研修、生活支援ボランティア講座
弥 生	こども園との合同芋掘り会、独居高齢者・高齢者世帯クリスマスプレゼント 配布事業、グラウンドゴルフ大会・地区社協視察研修・地区社協広報誌発行
本 匠	歳末もちつき事業、ふれあい配食サービス事業、学校整備事業・学校給食に おいての食育推進への補助、みずぐるまの活動支援、地区社協だより発行
宇 目	ふれあいの集い(独居高齢者へお菓子配布)、あんしん見守り隊啓発活動、 地区社協だより発行、グラウンドゴルフ大会(老人クラブ)にお茶提供、宇目 つくし隊支えあい活動(生活支援体制整備事業)支援、地区納入袋提供、チ ャイルドシート・車椅子の貸出事業
直 川	高齢者クリスマス配食の配達支援、絵手紙配付事業(暑中・年賀) 地区社協だより、小学生とのお茶摘み交流体験、避難所訓練への参加



鶴見	地区スポーツ大会助成事業、歳末福祉もちつき大会、住民たすけあいサービスの実施（生活支援サービス さざなみ支援）、地域交流拠点環境整備事業
米水津	ふれあいスポーツ大会、生活支援サービス（たすけ愛隊） ふれあい配食サービスの支援
蒲江	福祉関係者研修会、蒲江安全安心マンボウ隊（見守り活動） クリスマスプレゼント配布事業

②イベント用品や防災訓練備品等の貸し出し

○地区社協のイベントや防災訓練等に貸出し

	綿菓子機	かき氷機	防災訓練備品	計
貸出件数	0	6	0	6

○レクリエーション用品の貸し出し

サロン、子育てサロン、地区社協のイベント等で活用した。

	佐伯	弥生	米水津	計
貸出件数	35	1	2	38

## 2 福祉意識の醸成

### (1) 「ちびフェスセット」制作、配布

ちびっこフェスティバル（コロナ禍により中止）の代替事業として、市内小学校1年生（児童数470名）を対象に「ちびフェスセット」を制作、配布を行った。この取り組みを通じて福祉と防災を学んでもらい、福祉意識の醸成を図った。

### (2) 福祉体験プログラムの実施

学校や事業所等での福祉体験教室の開催 延べ15回 参加者544名

	佐伯支部	上浦支部	弥生支部	宇目支部	米水津支部
車いす体験	彦陽中 佐伯南中		上野小		
アイマスク体験	彦陽中 佐伯南中	東雲小	上野小		米水津中
高齢者疑似体験	鶴谷中	東雲小	上野小		米水津中
手話体験			切畑小		
高齢者福祉について(講話)					米水津中
社協とは(講話)					米水津中
車いすバスケット体験			上野小		
盲導犬とのふれあい		東雲中	切畑小		
フラワーアレンジメント (高齢者福祉施設へ寄付)				宇目緑豊中	

(3) 福祉スクールの開催（弥生支部）

○弥生のジュニアスクールと連携し、地区内の小学生を対象として福祉体験（点字体験、アイマスクの体験）を行った。参加者 24 名

(4) その他

○社協事業のPRと地域課題について住民との意見交換を行った。

- ① 地域課題について座談会の開催（鶴見支部） 羽出地区 11 名 鮎浦地区 3 名
- ② 寄り合い座談会の開催（米水津支部） 間越地区 5 名
- ③ 米水津支部だよりによる広報「よのうづの輪」を年間 3 回発行 延べ 2,100 部
- ④ 小地域での懇談会の開催（蒲江支部） 丸市尾地区 5 名
- ⑤ 第 16 回 大分県地域福祉推進大会への参加

- ・日 時：10 月 13 日（水）
- ・場 所：別府市「ビーコンプラザ」
- ・表 彰

県知事表彰	県知事賞	県知事感謝状	県社協会長表彰	県社協会長感謝状	県老連会長表彰
1 団体	1 団体 個人 1 名	1 団体 個人 2 名	個人 6 名		個人 3 名

⑥ ひとしづくちゃんぬりえコンテスト（3 回）

コロナ禍でもできる親子イベントとして、市内 4 児童館協力のもと親子の触れ合いと福祉意識の醸成を図った。

3 ボランティア・NPO等の育成

(1) ボランティアの活動啓発・支援

- ①ボランティアセンターを設置し、コーディネーターを配置した。
- ②ボランティア団体・保険加入状況

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

社協で把握している団体数	55 団体 2,362 名 ※ 内ボランティア連絡協議会加入 19 団体	
ボランティア保険加入状況	1,937 名	活動者の傷害、賠償補償保険
ボランティア行事用保険加入状況	27 件	行事ごとに加入するボランティア保険
事故対応	1 件	活動中の事故に対する保険申請
福祉サービス総合補償加入状況	8 件	佐伯市社協、大入島地区社協、空の公園と景観を守る会、米水津地区社協(たすけ愛隊)、本匠みずぐるま、畑野浦生活支援隊 床木とことこ隊 鶴見地区社協(鶴鶴クラブ)
送迎サービス補償加入状況	1 件	直川

○相談・登録・斡旋事業

ボランティアに関する相談・支援と活動機会の提供及び、コーディネートを行った。

- ・ボランティアの募集 62件
- ・ボランティア活動のマッチング 2件
- ・上記以外の相談受付、情報提供 10件

○収集ボランティア、手芸ボランティア活動の推進

①発展途上国への医療支援等のために使用済み切手等を収集した。

②手芸ボランティア活動は、毎月2回小物等を作成した。

- ・シトラスリボン・巾着袋（サロン）・ストレッチ棒（サロン）

○佐伯市ボランティア連絡協議会への事務支援

佐伯市ボランティア連絡協議会に対して、その事務局を担当するとともに総会や理事会、研修会等運営に関する支援を行った。

- ・佐伯市ボランティア連絡協議会総会は書面決議。  
理事会（年3回）実施、交流会は11月に実施。

○ボランティアに関する広報を行い、ボランティア意識の啓発を実施した。

①ボランティア広報紙「ぼらの樹」の発行 102部

②ボランティア関連情報をホームページに掲載

(2) 生活支援ボランティア講座の開催（地域づくり大作戦）

○高齢者の「ちょっとした困りごと」を支えるボランティアの養成を行った。

- ・「話し相手がいない」「話を聴いてほしい」という地域の声を受け、傾聴ボランティア養成講座を実施し、実際に3ケースの支援を行った。

（全2回 18名参加）

- ・生活支援ボランティアとして活動をしている方に対し、他地区の活動状況報告や悩みの解決策を検討した。

(3) ボランティア手帳の発行

○中学生、高校生ボランティア活動啓発事業の推進

- ・希望する中学生・高校生にボランティア手帳を配布した。（配布数：101冊）

(4) NPO・企業ボランティア団体との協働の推進

- ・企業ボランティア団体からボランティアについての相談を受けた。

(5) 夏のボランティア体験事業

夏休み期間のボランティア体験を福祉施設と協力し、学生の受け入れ対応を行い、ボランティア意識の高揚ときっかけづくりを支援した。（176名 28施設の協力）

- (6) 各種ボランティア講座の開催  
 ・傾聴ボランティア講座の開催 参加者 18 名

#### 4 関係団体の活動促進

##### (1) 民生委員児童委員協議会の活動促進

○住民に一番近い立場で活動する民生委員児童委員の活動支援を行った。

①市民生委員児童委員協議会の事務支援

②民生委員児童委員の活動支援

- ・緊急キットの更新作業、PR活動
- ・おめでとう訪問事業（主任児童委員の支援） 285 件

##### (2) ボランティア連絡協議会の支援

○理事会 3 回、総会（書面決議）、防災研修会

##### (3) 地区社協の活動支援

○地区社協会長、事務局長会議の開催

##### (4) 老人クラブ連合会の支援（市受託事業）

①佐伯市老人クラブ連合会 68 クラブ 2,165 名加入

- ・理事会 4 回 評議員会 1 回（書面決議）
- ・スポーツ大会（全域） ※コロナ禍により中止
- ・佐伯市老人クラブ大会 11 月 30 日 さいき城山桜ホール 200 名参加

区分	市老連会長表彰 会長永年勤続賞	市老連会長表彰 会員功労賞	米寿	白寿
受賞者数	3 名	23 名	67 名	1 名

②佐伯市老人クラブ連合会佐伯支部 19 クラブ 360 名加入

- ・理事会 4 回 会長会 4 回（うち 1 回書面決議）
- ・スポーツ大会（佐伯支部） 佐伯市屋内運動広場 120 名参加

## [Ⅱ] 支えあう地域づくり

### 1 地域のネットワークづくりと支えあい活動の促進

#### (1) 地域福祉ネットワーク事業の推進

①緊急情報キット連絡会による情報共有と連携の強化

- ・佐伯警察署、佐伯消防署、佐伯市民児協、行政機関との緊急情報キット活用事例の情報共有を行い、必要性を再確認した。7,857 世帯

② 災害ボランティアネットワーク協議会（コロナ禍により中止）

③ 生活困窮者支援連絡会議（コロナ禍により中止）

④ 福祉推進員による見守り活動の推進（蒲江支部）

- ⑤ 市コミュニティ創生課との連携による小地域の課題共有と課題解決に向けた住民主体の会議（話す会・考える会）への職員派遣（青山・西上浦・宇目・直川）

(2) 地域づくり大作戦（市受託事業：生活支援体制整備事業）

①生活支援コーディネーターの配置

- ・第1層（全市対象）1名、第2層（旧市内、旧町村）17名

②第1層協議体（高齢者にやさしい地域づくり協議会）

- ・6月 令和2年度報告、令和3年度の取り組みについて（書面報告）
- ・12月24日 生活支援体制整備事業の取組について、グループワーク

③地域ケア会議への参加

- ・年14回参加し、地域課題の把握に努めた。

④ケアマネジメント支援会議への参加

- ・年24回参加し、地域課題の把握に努め、多職種専門職との繋がり構築に努めた。

⑤生活支援サービスの実施（支援）

- ・高齢者等の日常生活における「ちょっとした困りごと」への支援として、住民主体による生活支援サービスを実施した。

大入島0件 青山1件 木立6件 弥生11件 本匠14件 宇目131件  
鶴見60件 米水津63件 蒲江42件（畑野浦32件、竹野浦河内10件）

⑥地域拠点の支援：鶴見地区「さざなみ」

- ・誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ（生活支援ボランティア）が中心となり、さざなみの運営を支援した。参加者延べ280名 支援者延べ150名

⑦地域拠点の支援：佐伯地区「チェアー」

地域の健康体操の居場所「チェアー健康体操」の運営を支援した。

佐伯市内3か所 毎月1～2回（コロナ禍等の影響により中止あり）

登録者（新女島10名・女島15名・床木10名）

⑧地域資源マップ・社会資源リストの更新

ふれあい・いきいきサロンの実施場所について、見守りシステムに基本情報を更新した。

(3) フードバンクおおいたの協力

- ・家庭で消費されない食料品の寄附を受け生活困窮者の支援に活用した。

利用延べ人数：203名

- ・フードドライブを2回実施し、お米・缶詰・海苔・調味料等を集めることができた。

(4) 共同募金委員会の運営

- 佐伯市共同募金委員会事務局を担い、地域福祉活動の財源となる共同募金（赤い羽根募金、歳末募金）の募金活動を行った。

①赤い羽根共同募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	28,112	6,626,370
街頭募金	1	20,408
法人募金	1	5,316
職域募金(バッチ募金等)	152	62,200
その他(預金利息等)	7	9,259
募金合計	28,273	6,723,553

※ 募金総額の概ね60%が、令和4年度地域福祉事業の財源として助成される。

②歳末たすけあい募金の実績

項目	件数	金額
戸別募金	27,626	3,767,986
法人募金	6	60,000
学校募金	3	148,353
職域募金	37	38,830
イベント募金	1	1,123
個人募金	1	781
その他(預金利息等)	5	204,151
募金合計	27,679	4,221,224

○共同募金運営委員会の開催

	期日	議題
第1回	6月 書面決議	令和2年度共同募金報告 令和3年度共同募金目標額について 令和3年度歳末たすけあい募金配分指針について
第2回	11月12日	令和3年度赤い羽根募金中間報告について 歳末たすけあい募金本部・支部助成について 歳末たすけあい募金公募事業助成の審査について

- ・運営委員会で助成方針を協議し、助成申請を公募し、団体助成・歳末事業に重点を置き、活動助成を行った。

項目	件数	金額
福祉団体助成	85	3,524,350
歳末募金配分経費		297,000
助成合計	85	3,821,350

2 活動拠点の確保

(1) 佐伯市社会福祉センター・地域福祉センターの運営(指定管理事業)

○地域福祉事業推進の拠点として、ボランティア、健康づくりや生きがいくくり、各種福祉の研修の場として、地域福祉推進の役割を担った。

- |               |        |        |
|---------------|--------|--------|
| ① 佐伯市社会福祉センター | 1,002回 | 5,865人 |
| ② 上浦地域福祉センター  | 5回     | 66人    |
| ③ 直川地域福祉センター  | 34回    | 540人   |

- (2) 地域の寄り合い所の確保・運営支援（地域づくり大作戦）
- 高齢者（地域住民）の居場所・地域拠点の支援（鶴見支部）
    - ・誰もが寄れる地域の拠点として、鶴鶴クラブ（生活支援ボランティア）が運営する「さざなみ」の活動を支援した。 週1回 利用者280名  
通いの場（体操教室） 年39回 参加者280名
    - ・「丸市尾よってみらんかい」を立ち上げ、丸市尾地区在住の一人暮らしの方を対象に集いの場を提供し親睦を図った。12月に開催 参加者12名
- (3) ボランティアの拠点の確保
- ・ボランティア団体の活動を促進するため、誰もが利用しやすい拠点の確保の検討を行う。

### [Ⅲ] サービスを利用しやすい仕組みづくり

#### 1 情報提供の充実

##### (1) 広報等による情報提供

- 社協の福祉活動や地域の福祉活動をタイムリーに広報した。
- ①社協だよりの発行（全戸配布・年間6回 発行部数32,400部/回）
- ②ホームページ・フェイスブック・インスタグラムによる情報発信
  - ・地域住民に社協の活動をより詳しく知ってもらい、新しい福祉情報を提供するため、ホームページの更新・管理運営を行った。 アクセス回数 21,106回
- ③ケーブルテレビによる事業発信（随時）
- ④「ひとしずくちゃん」による広報
  - ・イメージキャラクター「ひとしずくちゃん」による社協PR
  - ・社協事業やイベント・児童館などに出向き、地域住民とのふれあいや広報活動を行った。
  - ・ひとしずくちゃん自動販売機6台
- ⑤米水津支部だよりの「よのうづの輪」の発行 年間3回 延べ2100部

#### 2 相談支援体制の充実

- (1) 弁護士による無料法律相談会 年間15回 131件
- (2) 民生委員による心配ごと相談会
  - ・佐伯 6回 3件
  - ・蒲江 5回 9件



(3) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

①生活困窮者自立支援事業

ア.生活に困窮している方に、自立した生活ができるまで継続的な支援を行い、特に今年度は、新型コロナウイルスの影響で減収した世帯に対して相談支援を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談	57	78	66	33	27	24	25	26	18	12	14	24	404
継続相談	234	245	307	253	323	239	201	228	190	194	189	197	2,800
プラン数	1	4	3	1	1	2	4	2	4	3	4	7	36
就労者数	2	0	0	0	0	0	3	0	2	0	2	0	9

イ. 支援調整会議・支援連絡会議の開催

支援調整会議を開催しプランについて協議し、関係機関との連携に努めた。

支援調整会議：11回 書面1回 支援連絡会議：中止

ウ. 就労支援、無料職業紹介所の開設

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
履歴書添削	0	0	1	0	0	2	1	1	5	2	3	1	16
ハローワーク 同行支援	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	5	10

エ. 愛のひとしづく事業による食料品等の支援

歳末たすけあい募金の助成を受け、相談過程における生活困窮者に商品券を支給した。 利用対象者：50名 総額：147,000円

オ. フードバンクを活用した食料支援

相談過程において、食べる物に困っている世帯に当面の食料品を支給した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延べ人数	15	21	8	20	13	17	10	16	15	21	22	25	203
提供した食品	米、缶詰、レトルト食品、カップ麺、即席麺等の食料品												

カ. きずなギフトの実施

相談者の自宅を訪問し米や日用品等を配布することで、自宅での生活を把握し、生活不安を軽減することを目的として実施した。 利用延べ人数：28名

キ. 衣類バンク事業による支援

相談者の清潔保持や就職支援（面接）等で必要とされる衣類を支給した。（5名）

#### ク. ほっとc a f eの開催

相談過程におけるひきこもりや就労に支援が必要な方々を対象にカフェを開催し、生活リズムの改善、コミュニケーション能力の育成、集いの場の提供、ひきこもりからの脱却などを目的として実施した。 開催：11回 延べ人数：75名

#### ケ. きずなファームの実施

民間所有者の畑の一部を無償で借り、就労体験や居場所づくりを目的として農作業体験を実施した。そこで収穫した野菜を使って7月に「キッチンきずな（調理実習）」でカレーづくりを行った。

※ じゃがいも、人参、タマネギ、さつまいも、大根、ニンニク等の栽培

#### コ. きずなマーケットの実施

きずなファーム参加者を対象に、就労意欲の向上を目的として、きずなファームで収穫した野菜の販売体験を行った。 実施回数：2回

#### サ. ひきこもり脱出作戦会議の開催

市内の精神科医及び障がい者相談支援センターと連携し、ひきこもり者へのアプローチ方法を検討した。 開催：2回

#### シ. ひきこもり者定期巡回訪問の実施

ひきこもり状態にある方やそのご家族の状況を把握し、つながりを持ち続けることを目的として、定期的に自宅訪問を行った。 延べ22回

#### ス. きずなレターの送付

ひきこもり者や就労準備段階の人たちを対象に、「ほっとカフェ」や「きずなファーム」の案内や年賀状等、手書きのお便りを郵送し、アプローチを行った。特に今年度はコロナ禍で積極的に活用を行った。 延べ送付者数：145名

#### セ. ワークチャレンジ事業（コロナ禍により中止）

就労した経験のない方や職業生活にブランクのある方などを対象に就労意欲の向上や自立をはかるために、就労体験を行う事業だが、今年度はコロナ禍で体験を中止した。

#### ソ. おおいたくらしサポート事業の連携

市内の「おおいたくらしサポート事業」を実施する施設と協働して「おおいたくらしサポート事業佐伯地区連絡会議」を開催した。

#### タ. 広報活動

- ・PRカードの作成 3,000部
- ・「社協だより」に毎号掲載（年6回）
- ・ホームページへの佐伯市くらしサポートセンター「きずな」活動状況の掲載

(4) 社協職員による総合相談事業

○社協職員による保健・福祉全般にかかわるワンストップの相談体制

支部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	米水津	蒲江	合計
件数	70	13	19	9	8	9	22	8	24	182

○相談内容別件数

相談内容	件数	相談内容	件数
生計問題	14	相続・財産問題	7
年金問題	2	事故問題	
金銭問題(貸借・多重債務など)	6	人権相談	
離職による相談		児童福祉関係	6
住宅問題	6	教育・青少年関係	
家族問題	2	障がい者・児関係	2
結婚問題		老人福祉関係	71
離婚問題		父子・母子関係	
不貞行為・慰謝料		苦情相談	1
健康・医療・介護問題	41	その他	20
近隣トラブル・境界線	4	合計	182

(5) 資金貸付事業

①生活福祉資金貸付事業の実施

・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
福祉資金・福祉費	2	117,000
緊急小口資金	5	430,000
合計	7	547,000

②生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付事業の実施

・新型コロナウイルスの影響を受け減収した世帯への資金の貸付

資金種類	貸付件数	金額
緊急小口資金	270	53,500,000
総合支援資金	331	177,300,000
総合支援資金延長	116	62,900,000
総合支援資金再貸付	248	132,600,000
合計	965 (うち外国人 62)	426,300,000

### ③小口資金貸付事業の実施

- ・低所得者等への資金の貸付

資金種類	新規貸付件数	金額
生活資金	2	75,000
つなぎ資金	7	270,000
合計	9	345,000

### (6) 就労準備支援事業（新規受託事業）

自立相談支援機関との連携を密に行い、プランに位置付けられたすぐに一般就労が難しい相談者に対し、主に支援メニューにおけるプログラムを実施した。

また、就労支援対象者だけではなくひきこもりがちな相談者等のアウトリーチも積極的に行った。

支援メニューの開発については支援対象者の意見を聞きながら、軽スポーツ教室、パソコン教室、ファーム手伝いなど柔軟にメニュー作りを行った。

- ・新規対象者数 6 件
- ・プラン作成件数 6 件
- ・継続支援実施延べ回数 183 回
- ・就労支援結果 パート就労開始 3 名、福祉的就労開始 1 名

### (7) 被保護就労支援事業（新規受託事業）

#### ①事業の取り組み（概要）

生活保護受給者のうち主に支援が必要と思われる（18歳以上65歳未満）で就労が可能と思われるものについて支援を行った。特に、ハローワーク同行、生活習慣を整えるため自宅訪問を行い、就職面接にも同行し自立を促した。

#### ②具体的な取り組み内容

- ・プラン作成件数 25 件
- ・相談件数(自宅訪問・電話) 277 件
- ・情報提供 2 件
- ・ハローワーク同行支援 42 件
- ・応募件数 13 件
- ・就労件数 6 件
- ・その他 企業等を訪問による受け入れ先の開拓、佐伯保養院の受診同行、相談支援専門員と連携

### 3 福祉サービスや健康づくり事業の充実

#### (1) 高齢者福祉サービスの充実

##### ○お洗濯支援事業（宇目支部）

- ・コインランドリーの管理運営と大きな洗濯物の洗濯代行サービスの実施

洗濯機	658 回
乾燥機	2,763 回
洗濯代行サービス	0 回

#### (2) 独居世帯への相談・見守り・終活などの支援

- 終活及び死後事務についての研修に参加し、今後の取り組みについて検討を行った。

#### (3) 毎日型配食サービス（上浦支部） 12,219 食

#### (4) 障がい者福祉サービスの充実

##### ①福祉機器の貸出（貸出件数）

福祉器具	佐伯	宇目	米水津	蒲江	合計
車イス	15	10	4	6	35
福祉体験用品	5				5

##### ②移送サービス事業（宇目支部）

- ・ボランティアとの協働で移動が困難な方の送迎サービスの実施（今年度依頼なし）

#### (5) 子育て支援サービスの充実

##### ①チャイルドシート貸出事業（宇目支部）

- ・貸出件数 5 件：保有台数 チャイルド用 3 台 ベビー用 2 台

##### ②上浦子育て支援事業（上浦支部） 43 名

#### (6) 健康づくり事業の充実

##### ○高齢者の介護予防としての健康づくり事業

##### ①「通りゃんせ」事業（佐伯支部） 参加者 延べ 132 名

ノルディックウォークを通じて仲間づくりや体力づくりを行い、健康寿命を延ばし、地域で元気に暮らす事を目的とし実施した。

- ・6月(1回)より毎月2回実施（年間18回実施、九電健康料理教室1人1回参加）

##### ②「通りゃんせぷらす」事業（佐伯支部） 参加者 延べ 30 名

「通りゃんせ」事業のフォローアップとしてノルディックウォークを、楽しみながら、健康意識・きずな・体力づくりの継続を目的とし、実施した。

- ・6月より毎月1回実施（年間10回実施）

- ③元気アップ事業（上浦支部） 参加者 延べ570名（96回/年）  
上浦ふれあいプラザを会場とし、経験豊富な健康運動実践指導者によるストレッチ、筋力トレーニング、有酸素トレーニング、ヨガ等を取り入れた介護予防運動プログラムを毎月8回実施。
- ④体操教室 ひとつむぎ（本匠支部・新規） 参加者 延べ25名（4回/年）  
本匠地区の住民を対象に、体操教室を実施した。健康運動実践指導者によるストレッチや、有酸素トレーニングも取り入れ、介護予防の推進をはかった。また、ゲームや味噌づくりを行うことで住民同士の交流を図った。  
コロナ禍での開催であったため、感染対策を万全にして実施した。
- ⑤このゆびとまれ事業（宇目支部） 参加者 延べ96名（12回/年）  
健康体操や制作活動、レクリエーション、おやつ作り等を通して、健康・介護予防に関する意識の向上、身体機能・精神面の向上をはかった。
- ⑥シニア世代元気事業（直川支部） 参加者 延べ426名（35回/2ヵ所）  
シニア世代を中心に健康寿命を延ばす事を目的として、ストレッチ体操等の介護予防への取り組みを行った。さらに地域に住む同世代と交流する事で、地域への関わりが増え、活動の範囲を広げることへとつながった。
- ⑦思いやりごはん「うめ」（宇目支部） 参加者 延べ21名（2回/年）  
一人暮らし高齢者を対象に、調理実習や会食を通じて社会参加や栄養改善の意識向上をはかった。
- ⑧スマホ教室（直川支部） （7回/年）  
「スマホを教えてほしい」という方を対象にスマホの操作説明を行う。災害時や介護予防に役立つ機能などを説明する。合わせて脳トレや簡単な体操を行う事で介護予防促進を図った。
- ⑨「3カフェテラス」・「3カフェテラス」 in 渡町台 参加者 延べ34名（2回/年）  
男性の居場所づくりへの取り組みとして、高齢男性の食への興味と役割を持てる暮らしの継続を視野に、シニア男性が集う料理教室を開催した。上堅田地区公民館の男の料理教室のメンバーを講師に迎え、調理体験と参加者同士の交流を図り、次年度の実施に向け、支援者の理解が得られた。
- ⑩佐伯地区「地域力アップ」懇談会  
中央マルショクの閉鎖による生活環境の変化から見える課題を踏まえ、地域の集いについて佐伯小学校校区の代表区長と地区社協役員、佐伯児童館館長を交えた懇談会を行い、シニア世代の暮らしと現状、居場所づくりについて共通理解を深めた。

#### 4 権利擁護体制の充実

サービス利用に関わる権利擁護体制の整備

##### (1) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

○判断能力が低下した方への福祉サービスの利用援助や金銭管理、書類の預かりサービス

・新規契約件数 36件 ・解約件数 27件

日常生活自立支援サービスの契約件数									
支 部	佐伯	上浦	弥生	本匠	宇目	直川	鶴見	蒲江	合 計
契約件数	94	5	6	4	2	1	2	7	121

##### (2) 成年後見制度の利用促進

○佐伯市成年後見支援センターの設置（令和3年7月1日）

- ・運営委員会の開催 2回（9/24、3/10）
- ・受任者調整会議の開催 2回（9/15、1/19）
- ・相談対応実績 76件（延べ件数）
- ・広報・啓発

パンフレット作成・配布（各関係機関）

民児協会長会、介護支援専門員協議会等の会議に出席し、事業周知を行った。

その他、市報、社協だより、ホームページ、ケーブルテレビ等による広報を行った。

センター職員による、講師派遣を行った。

3/22 佐伯圏域障がい者共同サポートセンター「人とき」人権研修

講義：「成年後見制度について」

内容：成年後見制度、佐伯市成年後見支援センターの事業紹介、法人後見事業

○市民後見人養成講座の開催

- ・10日間（10/29～3/11） 15名（受講修了者）

○法人後見事業

- ・新規法人後見受任実績

新規	類 型				実件数	累計件数
	後見	保佐	補助	計		
令和3年度	2	1	0	3	3	3

#### [IV] 安全安心なまちづくり

##### 1 地域ぐるみの防犯・防災対策の推進

##### (1) 災害ボランティアセンターの設置・運営

○大規模災害が発生しなかったため設置・運営なし。



(2) 地域防災講座への協力（講師派遣）と防災事業の実施

○地区社協や自治会等への講座実施

①宇目地区防災研修の実施（宇目支部）

小学生を対象に災害が発生した時の対応や避難所生活について講話を行った。また、簡易パーテーション、簡易担架づくり等の体験を行い、防災意識の向上をはかった。

②直川地域防災連絡協議会への協力（直川支部）

大規模災害に備えて、地区住民を主体とした組織（直川消防団・社協・赤十字・直川ボランティア等）が出来上がり、非常時に備えた避難所訓練（避難所設営、パーテーション作り、簡易トイレ作り等）を実施した。 11/14 横川地区 50名

③地域防災力向上事業への協力（蒲江支部）

丸市尾地区で南海トラフ地震を想定した避難訓練の支援・避難支援プラン（13件）の見直し、支援体制を整備した。また、「より迅速な避難誘導」を目指す仕組みとして「黄色いハンカチ作戦」を確立し、申合せを行った。

④学校主催防災プログラムへの協力（弥生支部）

・11/11 避難所を知ろう

（講話/避難所運営ゲーム/簡易テント張り体験）昭和中学校 2年生対象

・12/4 地域で防災を考えよう

（講話/非常食づくり/簡易テント張り体験）上野小学校全生徒・地域住民対象

(3) 防災教育プログラム事業の実施

○体験を通じ防災意識を高めるため、児童・生徒を対象にした防災教育プログラムの実施（佐伯支部）

・災害時の危ない所探し、パーテーションの組み立て（佐伯児童館地域の児童対象）

(4) 災害ボランティアネットワーク協議会の運営（感染対策により、開催なし）

(5) 災害支援に対応できる職員の育成

○災害ボランティア運営リーダー研修への参加

県社協が実施する研修に職員5名が参加し、大規模災害に備えるための必要な知識や技術などを学んだ。

○被災地への現地派遣

令和4年1月に日向灘を震源とする地震発生（佐伯市全域）

・職員を派遣しニーズ調査を実施し、詐欺被害防止のチラシを配布した。

佐伯地区 125件 弥生 67件 本匠 1件 宇目 2件

鶴見 37件 米水津 20件 蒲江 146件 計 398件

派遣職員数 20名 派遣日数 3日

○被災地へのボランティア活動

令和4年1月に日向灘を震源とする地震で被災した家屋のがれき撤去等、ボランティア活動を行った。職員数3名 活動日数2日

○防災士養成講座への講師派遣を実施した。

(6) 防災標語づくり (弥生支部)

○『みんなで考える防災標語』として、H30年度から引き続き、防災標語を募集した。防災への意識づけを継続して行った。

(7) 緊急情報キット事業

- ・高齢者等が万一倒れた時のために、かかりつけ医や薬等の情報を筒に入れ冷蔵庫に保管するキットを配付及びデータの更新作業を行った。7,544世帯
- ・59件が緊急搬送の対応に役立った。

(8) 高齢者や子どもの見守り活動の見守りの推進

○地域で行われる見守り活動の支援協力を行った。

①地区社協配食サービスによる見守り支援 延べ 1,447回

②配食サービスによる見守り (上浦支部) 延べ 12,219回

③宇目あんしん見守り隊活動の支援 (宇目支部)

子どもや高齢者を『自然なかたち』で見守ることができるよう、各関係団体へハガキを通じて見守り活動の啓発をした。 105件

④蒲江マンボウ隊の見守り活動支援 (蒲江支部) 延べ16回

⑤福祉推進員による見守り (蒲江支部) 43地区

2 誰にでもやさしいまちづくりの推進

(1) 新たな移送サービスの検討

○地域課題として高齢者の移動の心配が多い中で、多機関、専門職の連携による新たな移動の仕組みを検討。

- ・直川地区の移送課題を解決するため、直川地区の福祉施設と協働で「直川地域福祉推進連絡準備会」を実施した。
- ・コミュニティーバスの再編成に伴い、実際に職員が乗車体験を行い、仕組みを理解し、活用の見直しや啓発を行った。

[V] その他の事業

(1) 社協の自主財源の確保の取り組み

①本会の行う各事業において、社協旗や財源旗を活用して積極的にPRし、自主財源となる会費への理解を進めた。

②自動販売機の設置売上による自主財源確保に取り組んだ。現在、既存の自動販売機を含め、延べ9ヶ所設置。

## (2) 職員の資質向上の取り組み

①職員のスキルアップを目的として、外部講師の招聘による研修会の企画や県内外の社協関係者との合同研修に職員を派遣して資質向上に努めた。

- ・ 新任職員・新任管理職研修
- ・ 市町村社会福祉協議会新任職員研修
- ・ 市町村地域福祉実践発表会
- ・ 成年後見制度事業研修

## (3) 福祉現場実習生の受け入れ(人材育成)

①日本文理大学より、1名の実習受け入れ対応を行った。

## (4) 地域福祉活動計画の進行管理

佐伯市地域福祉活動計画推進協議会において、令和2年度分の佐伯市地域福祉活動計画の経過報告を行った。(感染対策による書面決議)

# <在宅福祉課>

## 1 介護保険事業の状況

介護保険事業において、国は要介護者を対象とした介護保険制度に軸足を置き、介護予防事業は市町村に移管した。佐伯市においても自立支援の考え方に立った「介護予防・日常生活支援総合事業」(総合事業)を実施し、社協の各事業所では、要介護状態にならないための運動指導や認知症予防の取り組みを進めるとともに、職員の研修を重ね資質の向上に努めた。

また、作業療法士が利用者の個別指導や職員のさらなるスキルアップに力を入れ、利用者の日常動作の機能向上を支援した。

処遇改善加算や特定処遇改善加算を取得することで、職員に対して職務を明確にし、さらに処遇改善による手当等の増額を行いながら介護職員の定着を図った。

### (1) 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)

令和3年度は3事業所、15名の介護支援専門員(ケアマネージャー)で事業を行った。要介護者の依頼により居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、サービス提供事業者との連絡調整を行っている。総合事業プランについては、地域包括支援センターより積極的に受託し、地域住民の介護予防を支援した。

3月末プラン数：429件(介護374件・予防55件)

### (2) 訪問介護事業(ホームヘルプ)

佐伯市全域を対象として運営を進めた。主に入浴・排泄などの身体介護や調理・洗濯・清掃などの生活支援を行った。また全て職員が行うのではなく、自立支援を目的として、できることは一緒に行うように支援した。

3月末利用者数：156名

### (3) 通所介護事業（デイサービス）

上浦、弥生、宇目、直川、米水津の5事業所を運営。食事・入浴などの日常生活上の支援や生活機能向上のための運動等を提供した。また、介護予防教室「おげんき広場」については、上浦、弥生、直川、米水津の4事業所で作業療法士が中心となり、運動指導や認知症予防プログラムへ積極的に取り組んだ。

指定管理最終年度であり、令和3年度は、弥生・米水津の運営が終了となった。  
3月末利用者数：177名

## 2 障がい者(児)等を対象とした訪問介護事業（ホームヘルプ）

介護保険事業同様に、市と連携しながら市受託事業の障がい者福祉サービスや障害者総合支援法による身体障がい(児)者・知的障がい(児)者等への訪問介護サービスを提供した。

3月末利用者数：46名

## 3 受託事業の状況

### (1) 高齢者生活福祉センター居住部門及び生活支援ハウス運営事業

入居者に対し生活援助員を配置し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援した。

3月末入所者数：50名

### (2) 地域包括支援センター運營業務（新規受託事業）

令和3年度から第2.3圏域の地域包括支援センターを受託し、事業を実施した。圏域ごとに設置されたことで、住民にとって相談しやすい環境が整った。

第2圏域 弥生、本匠、宇目、直川 第3圏域 鶴見、米水津、蒲江

3月プラン数：255件（第2圏域 137件・第3圏域 118件）

年延べ相談件数：1,579件（第2圏域 778件・第3圏域 801件）月平均 132件

主な相談：介護 855件 介護予防・生活支援 357件 認知症 116件 医療 63件

## 4 処遇改善への取組み

介護職員処遇改善加算Ⅰについては継続して算定。令和2年4月から取得した、特定処遇改善加算も継続して算定し、職員のさらなる処遇改善に努めた。

## 5 佐伯市SOSネットワーク事業への協力

佐伯市との「佐伯市SOSネットワーク事業に関する協定」に基づき、徘徊事案が発生した場合、相互に協力する体制を築くことで、対象者が安心して暮らせる地域社会づくりへの協力を行った。

## <施設福祉課>

### 佐伯市特別養護老人ホーム豊寿苑

豊寿苑の理念『私たちは、入苑者の方々の「その人らしい生活」を大切にし、快適な暮らしができるよう支援します』のもと、入苑者の生活の質を向上させることに努め、重度者に対応した職員のスキルアップと介護技術の向上のための研修や新任職員を対象とした研修を強化した。

「ノーリフティングケア」の推進として、研修会への参加や先進施設の見学を行った。豊寿苑で取り組めるものとして、寝たままの状態に移乗の時に使用するスライディングシート（現在36枚）の活用も定着し、また座ったまま移乗できるスライディングボード（3枚）を導入し、抱え過ぎによる入苑者の重度化防止、職員の腰痛予防に努めた。

感染症対策については、新型コロナウイルス感染防止のため、窓越し面会の実施、職員の出勤時の検温や健康チェック表の活用（県外在住者と接触した時に、一週間の健康状態の観察、昼食を別室にする等）、体調管理・体温測定記入表の活用（一日二回の体温測定）を行った。その結果、前年度に引き続き、新型コロナウイルスはもちろんのこと、インフルエンザによる感染も抑えることができた。

施設行事は、盆踊り・花火大会や家族交流会など外部との交流事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。しかし、その中でも各フロアで工夫を凝らし、小規模ではあるが、季節の行事などを行った。

また、豊寿苑での様子を地域へ発信するため、広報誌やホームページ、フェイスブックを活用し、リアルタイムで苑での活動を紹介した。

#### 1. 入苑者の概要（各年度末統計）

##### （1）年間の平均入所者数

年 度	従来型（79）	ユニット型（21）	合計（100）
令和3年度	74.33人	20.17人	94.50人
令和2年度	76.58人	20.33人	96.91人
令和元年度	71.00人	20.92人	91.92人

##### （2）年間の入所率・稼働率

特養

年 度	入所率	稼働率
令和3年度	95.0%	90.6%
令和2年度	97.3%	94.5%
令和元年度	92.4%	88.5%

短期入所（ショートステイ）

年 度	実利用者数	延べ利用者数	稼働率
令和3年度	19人	501人	11.1%
令和2年度	12人	569人	18.3%
令和元年度	28人	1,149人	21.7%

(3) 平均年齢

性別	従来型	ユニット型
男 性	81歳 10月	88歳 1月
女 性	88歳 1月	88歳 11月
全 体	86歳 10月	88歳 8月

(4) 要介護度別の割合

要介護度	R3年度 入苑者の割合		R3年度 全 体	R2年度 全 体
	従来型 (79)	ユニット (21)		
要介護1	0.00%	0.00%	0.00%	1.04%
要介護2	4.20%	0.00%	3.20%	4.17%
要介護3	20.80%	50.00%	27.20%	15.62%
要介護4	31.90%	40.00%	33.70%	51.04%
要介護5	43.10%	10.00%	35.90%	28.13%

2. 職員の研修状況

①外部研修

期 日	研修名	場 所	職 種
R3.7.6	地域ネットワーク会議・福祉の事業所 ガイダンス	佐伯豊南高校	苑長
R3.6.22	第1回 保健所管内栄養士研修会 食品衛生講習	オンライン	管理栄養士
R3.10.27	喀痰吸引研修	ケアサポート学院	看護長・介護職員
R3.10.28	介護施設における安全対策担当者 養成研修	オンライン	苑長
R3.11.3	喀痰吸引研修	ケアサポート学院	看護長・介護職員
R3.11.9	喀痰吸引研修	ケアサポート学院	介護職員
R3.11.25	喀痰吸引研修	ケアサポート学院	介護職員



R4.1.18	ノーリフティングケア推進施設実地研修	特養老人ホーム 四季の郷	介護職員
R4.3.14	第1回佐伯豊南高校ネットワーク会議	オンライン	苑長
R4.3.24	LIFE についての研修会・総会	オンライン	苑長

## ②内部研修

期 日	内 容	職 種
R3.4.27	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.10	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.11	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.12	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.14	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.17	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5.25	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.6.7	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.10.1	身体拘束研修(異動者・新規雇用者対象)	介護職員
R3.5	現任研修(人権・接遇について)	全職員
R3.7	現任研修(認知症について研修)	全職員
R3.9	現任研修(看取りについて・緊急時の対応・感染症について)	全職員
R3.11	現任研修(虐待防止・身体拘束・食中毒について)	全職員
R4.1	現任研修(感染症・褥瘡予防について)	全職員
R4.3	現任研修(リスクマネジメント・身体拘束について)	全職員

### 3. 介護職員現場実習生の受け入れ（人材育成）

高校からの依頼により、介護職員初任者研修の現場実習生の受け入れを行った。  
 (佐伯豊南高校より、6名)

令和4年度には、佐伯豊南高校より2名の新卒採用を行い、介護人材確保につなげることができた。